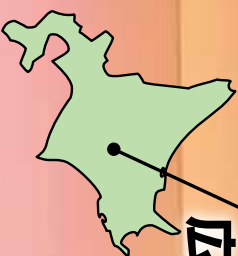


輝く未来へ しほろ創生

広報



しほろ

2025
No.770
1



■主な内容

- ・新年のごあいさつ P2～3
- ・秋葉町づくり懇談会の意見・要望 P4～5
- ・土幌町・美濃市姉妹都市提携30周年記念事業 舞台公演「土幌の空」 ... P6
- ・12月定例議会で可決された主な案件 P11
- ・～20歳になったみなさんへ～ 「20歳になったら国民年金」 P13
- ・令和6年を振り返って P14～15

土幌町・美濃市
姉妹都市提携30周年記念事業
舞台公演「土幌の空」

あいさつ



士幌町長
高木 康 弘

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい令和7年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年の元旦に発生した能登半島地震と9月の豪雨は、甚大な被害となりました。皆様とともに1日も早い復旧・復興を願うところです。一方で、国際紛争の長期化の影響は、燃油、肥料・飼料をはじめとする生産資材や、物価高騰の長期化に繋がっています。

そのような中、コロナ5類移行後1年以上が経過し、町内の各種イベントは、大いに賑わい、多くの皆さんの笑顔を拝見することができ、大変うれしく思いました。

令和6年度は、美濃市と姉妹都市提携から30周年の節目の年となり、町民・市民より訪問団を募集して相互交流を行うとともに、美濃開拓団の当時の苦勞を朗読と合唱で表現する舞台公演「土幌の空」を開催することができ、改めて先人の苦勞に思いをはせることができました。

さて、昨年を振り返りますと、基幹産業である農業においては、台風や大雨被害もなく平年をやや上回る収量となりましたが、生産資材価格の高止まりにより、経営は厳しい状況にあります。昨年5月に改正された「食料・農業・農村基本法」に位置付けられた農畜産物の適正な価格形成の仕組みなど、安定した経済活動を継続できる取り組みを進めてまいります。

また、商工業、町民生活においても国の定額減税などに加え、町独自のプレミアム商品券発行事業や新規創業・空店舗対策などを行ってまいりましたが、国が進めている持続的な賃上げや成長型経済への変革に期待するところであります。

また、土幌っ子の活躍では、インターハイ・スピードスケートで帯広三条高・奥秋静子選手が500mで優勝、今シーズンにはジュニアワールドカップ代表となり、500mで優勝する快挙を成し遂げました。また、全道陸上大会においては、上居辺小4年・大野蓮之佑選手が800mで優勝、中央中2年・河村京葉選手が砲丸投げで優勝するなどさまざまな活躍がありました。

そのような中、2年目となる脱炭素・ゼロカーボン土幌の取り組みでは、令和7年度に整備予定の新しい認定ことも園・発達相談センターにおいて、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)という環境に配慮した新たな手法で実施設計を行っています。町全体としては、「再生可能エネルギー促進区域」を設定し、地域や事業者の皆様と一体となって、2050年脱炭素社会の実現を目指します。

現在、改修工事を行っているプラザ緑風ですが、4月上旬にリニューアルオープンをする予定ですので、今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

福祉村の中核である国保病院においては、福祉村内の連携や経営の改善にも努め、信頼される病院づくりを目指します。

昨年、「消滅可能性自治体」という不安をおる言葉が報道されましたが、日本全体が人口減少する時代の中で、本町が目指す「真に豊かな農村・しほろ、農村ユートピア」の実現に向けて、町民の皆様とともに、挑戦を続けてまいります。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい一年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



士幌町議会議長
河 口 和 吉

新年のご

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。平素より本町議会の運営に深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は「今は時代の転換点」と思える出来事が数多く起こりました。先の衆議院議員選挙において15年ぶりとなる自公の与党が過半数割れとなり、不安定な政権運営による地方自治体への影響が懸念される事態となったこともその中の一つですが、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しく、特に人口減少が著しい地方にとっては経済情勢も含め時代の先行きがますます不透明感を増しており、国会においては国民のための議論の深まりを期待します。

また、二つの大きな自治体の知事選挙においてSNS戦略が大きな影響もたらしたことは、その力を再認識させられたと同時に、選挙区の有権者ではない人の投稿拡散も多くあると思われ、今後注視していかなければならないと感じました。

また、各種ハラスメントについては過去から存在していましたが、ここに至り顕在化するようになり次々と噴出してきたことも昨年の特徴と感じます。

そのような中、昨年本町議会では十勝管内議会で初となる「士幌町議会ハラスメント防止条例」を制定、施行しました。議員としては自らが対象となり得ることから大きな決断でありますが、本条例は提案議員・賛同議員だけでなく議員全員で協議しながら作成したもので、本条例制定を契機に今後議会・役場庁舎内のみに留まることなく町民・町内各事業所にハラスメントの理解・防止の気運が醸成され、女性活躍の推進・労働環境の改善による「働きやすい士幌町」に向けて町全体が進むことを期待しております。

近年の地方分権の進展により、住民に身近な市町村の役割は一層重要になっており、町政においても人口減少、少子高齢化、地域の特性を生かした産業の振興、中心市街地の活性化などの課題が山積しております。議会としても道内・道外の先進地行政視察を行いながら他町の先進事例を学んでおり、今年は「AIオンデマンドタクシー活用による地域公共交通の確保について」「防災道の駅について」「旧小学校活用事業について」「災害支援派遣の受け入れ態勢について」をテーマに2班に分かれて道外視察してまいりました。今は全てインターネットで調べることができる時代です。事前準備をして臨んだわけですが、やはり実際に現地に出向いて対面で話をし初めて解ることが非常に多いと感じました。今後視察報告書としてまとめて町民の皆様にお示しし、また町に提案したいと考えております。

今後も町づくりの主役は町民の皆様であるということを念頭に、安全で安心な住みよい明るい士幌町の未来に向け、町民の皆様と共に歩んでまいれる所存であります。

昨年の我が国は、年頭から石川県能登半島沖地震に始まり、航空機事故、豪雨災害と大変大きな災害・事故が続きました。また、闇バイトによる凶悪な犯罪も大きな社会問題となっておりま。しかし一方で大谷翔平選手のメジャーリーグで大記録を次々に更新する姿やオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍など、心躍る場面も数多くありました。本町においては奥秋静子さんのジュニアワールドカップスピードスケート500m第1位のビッグニュースが年末に飛び込んできました。

本年こそは息災で輝かしい年になりますことと、町民皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

秋季町づくり懇談会の意見・要望

11月7日から28日までの期間、各地区10会場で「秋季町づくり懇談会」を開催しました。

多くの町民の皆さんより貴重な意見をいただきました。その中から主なものを要約して紹介します。

高等学校等就学支援金について

問

所得要件を教えてください。

答

子どもの人数によって定められている。18歳以下の児童が1名の場合は30万円、1名増えるごとに38万円を加える。

選挙の投票所について

問

移動期日前投票車の利用実績は。

答

令和6年10月27日執行の衆院選では、14世帯18名に投票いただいた。



問

移動期日前投票車を使い、たい方への周知や、より使いやすいくなる対策をしてほしい。

答

投票箱などを車外に出さずに投票を完結しなければならぬので、車両に乗り込んでいただいている。気軽に申し込めるよう少しずつ改善し、周知方法も考えていきたい。

問

投票立会人が朝7時から夕方6時までの長時間でかなり大変だった。期日前投票する人も多いので、投票所に行くのが難しい方へは移動投票車で回ってもらい、投票所を閉鎖できないか。

答

法律改正により地区以外の人も投票立会人になることができるようになったが、それでも投票立会人の確保には苦労している。皆さんの意見を聞きながら、投票率が下がらないよう総合的に検討していきたい。

防災ラジオの活用について

問

例えば交通安全週間などのような情報をもっと防災ラジオで放送してはどうか。

答

基本的には防災用だが、いざという時に聞いてもらえるよう、飽きないような形で運用していきたい。



令和6年11月末の広報は、冊子3冊・チラシ1枚（地区により2枚）に削減しました。

広報折込チラシについて

問

配るときに挟むのが大変なので、広報のページの中に組み込めないか。

答

役場内のチラシはすべて役場だよりに入れるように努力している。外部のチラシについてもできるだけ一本化できるように努めている。

自転車のコースについて

問

町内で自転車のコースを整備しているか。

答

トカプチ400という国が指定したサイクルルート事業があり、町内の一部道路が指定されている。自転車の通り道に青色の道路標示や矢印表示をしている。

国保病院の午後の診療について

問

午後の診療をもう少し増やせないか。

答

今年度4月から常勤2名体制になり、派遣医で補っているが、専門外来を除いて午前中のみの診療となっている。来年度4月からは、もう1名の医師を確保しながら、午後の診療を再開したい。

ヒグマ対策について

問

ヒグマの捕獲状況や対策は。

答

ヒグマについては今年度10月までで出没件数が10件、捕獲駆除が4頭。住民の命や農業被害などに関わる問題なので、都度、警察や猟友会と連携し、見回り警戒など引き続き対処していきたい。アライグマやキツネ対策も含めて、貸し出し用の箱罠を増やして捕獲に努めている。

スズメバチ対策について

問

スズメバチも人の命に関わる。巣の撤去の助成について教えてほしい。

答

今年度から、巣の撤去の助成金の単価を3千円から5千円に引き上げた。申請方法についても、今まで一旦業者へ撤去費用を支払っていただいた上で町から助成金を支払っていた方法を、町内の駆除業者に依頼した駆除については、助成金額を差し引いた額を業者へ支払っていた方法に簡略化した。

外国人向けの

子育て支援について

問

町の子育て支援事業は、外国人も対象になっているか。

答

基本的に、住民基本台帳に記載されている方は対象になる。

通学路の除雪について

問

通学の時間までに除雪できるようお願いしたい。

答

体制を整え、なるべく早く除雪できるように指導していきたい。

陸サッカー場の芝生について

問

陸のサッカー場は、ところどころ芝生がなくなっているの、芝の状態を良くしてほしい。

答

専門業者と相談しながら来シーズンに向けて協議していきたい。



舞台公演 「土幌の空」



12月8日、総合研修センターふれあいホールにて、士幌町・美濃市姉妹都市提携30周年記念事業「土幌の空」の公演が開催され、約550名が来場しました。

開会に当たり高木町長は「今一度先人の苦労に思いをはせ、現在の土幌の空と大地があることに感謝する一時になれば」とあいさつしました。

はじめに創作オペラ「白鮎の祈り」土幌バージョンが公演されました。「白鮎の祈り」では、美濃から土幌へ入植することになったきっかけでもある明治24年の濃尾地震で両親を亡くし、さらに大雨で兄が行方不明になってしまった妹のサツキが懸命に兄を探す姿が、美濃市キャストによる朗読・歌・ピアノのガラコンサートで表現されました。

続いて明治31年の土幌町開拓当初の様子を描いた「土幌物語開拓編」のビデオが上映され、最後に美濃市・士幌町・帯広三条高校合唱部約80名による「土幌の空」が公演されました。台本は「白鮎の祈り」とともに美濃音楽劇の会代表の雲山晃成さんが手掛け、指揮は帯広三条高校合唱部顧問の豊田端吾さんが務めました。

「土幌の空」では、明治31年に美濃から土幌へ向かった開拓団が、うっそうとした大原始林を鍬一丁斧一丁で切り開いていく苦労の歴史が朗読と合唱のカンタタ方式で表現され、会場からは大きな拍手が送られました。



70歳以上単身者世帯 防火点検 ～土幌消防署・消防団～



11月11・12日、土幌消防署と土幌消防団による70歳以上単身者世帯防火点検を実施しました。

点検には、女性消防団員3名も参加し、ボイラーやストーブ、コンセントなど火災危険箇所の確認、住宅用火災警報器の点検を実施。

住民には、「火災になったら火を消すことよりも逃げることを優先してください。まずは命を第一優先で考えるようにお願いします」と話し、1軒ずつ回りました。

収賄について学ぶ ～コンプライアンス研修～

11月15日、コミュニティセンターにて、コンプライアンス研修が行われ、約70名の職員が参加しました。

町の顧問弁護士の松浦護氏を講師に招き、収賄についての講演を受講しました。

講演の中では、なぜ収賄に関する行為を処罰するのか、日本の刑法が定める収賄の罪、管内で生じた自治体職員による収賄事件などさまざまなことが話され、参加した職員は業者対応での留意点などを学びました。



第41回町民体育祭！ ～ミニバレー競技～



11月24日、総合研修センターにて、町民体育祭（ミニバレー競技）が開催され、小学生の部11チーム60名、一般の部7チーム42名の計102名が参加しました。

各チームお揃いのTシャツを着て出場。予選リーグと決勝トーナメント方式で行われ、決まっても決まらなくても笑顔が絶えず、どのチームも素晴らしいチームワークでミニバレーを楽しんでいました。結果は次のとおりです。

～一般の部～

○優勝 トム

○準優勝 西上

○第3位 NO HOPE

～小学生の部～

○優勝 橋本学級7

○準優勝 6レンジャー士幌小5

○第3位 上居辺A

飲食店巡り 交通安全街頭啓発

11月26日、町内の飲食店にて交通安全街頭啓発が行われ、町生活安全推進協議会や駐在所など10名が参加し、飲酒運転根絶と交通安全を呼びかけました。

土幌町生活安全推進協議会加納利春会長は「ここ最近死亡事故が起きている。一人ひとりが意識を持って気を付けてほしい」と挨拶しました。

この日は、飲食店10店舗を回り、来店者への注意喚起と反射材の設置を依頼し、啓発品を来店者に配布しました。



小学生芸術鑑賞

「ねこはしる」

11月27日、総合研修センターふれあいホールにて、小学校芸術鑑賞事業として「アートインAsibina」による公演が行われ、町内小学校の児童と一般観客約300名が鑑賞しました。

公演は、のろまでドジだけれど気持ちの優しい子猫のランと仲良くなった池の魚との物語「ねこはしる」を上演。オカリナや、絹糸と紙コップで作られたストリングラフイという楽器の音色、笑いあり涙ありの公演に子どもたちは大盛り上がりでした。



高木町長と話そう！ しほろみらいトーク 「障がい者支援の会」



11月27日、しほろほのぼのホームにて、高木町長と土幌町の未来について語り合う「しほろみらいトーク」が行われ、土幌町障がい者支援の会の方々8名が参加しました。

この日は「町有林の切り出した木と空き地の利用方法について」をテーマに、町有林の間伐材を有効活用し、しいたけ栽培や木工品製作等が可能かどうかを検討する提案が出されました。トークでは「地域の資源を有効活用しつつ、ほのぼののホーム利用者さんの作業につながることを探していきたい」などの意見が出され、有意義な話し合いになりました。

ファイターズが土幌町へ 選手交流会2024 トークショーinしほろ

11月27日、総合研修センターにて、選手交流会2024トークショーinしほろが開催され、北海道内外約500名のファイターズファンが参加しました。五十幡亮汰選手、細川凌平選手、しほろ魅力発見アンバサダーのB・Bが登場し、会場を盛り上げました。

トークショーでは、ファンから選手への質問コーナーが設けられ「足が速くなるためには？」などさまざまな質問に答えていました。

抽選会では、直筆のサインが入ったボールやユニフォームが選手からプレゼントされるなど、ファイターズファンは大喜びでした。



五十幡選手、細川選手、 B・Bが小学校を訪問！ 北海道日本ハムファイターズ



11月28日、北海道日本ハムファイターズの五十幡亮汰選手、細川凌平選手、しほろ魅力発見アンバサダーのB・Bが土幌小学校を訪れ、町内の小学生と交流しました。選手とのキャッチボールをした各小学校の児童は、「難しい球を全部取ってくれて嬉しかった！球が投げやすかった」などと話していました。

質問コーナーでは「球を速くするコツは？」などの質問が出され、選手は「球を全力で投げる。足が速くなれば球も速くなる！」などと答えていました。

最後に各小学校へ直筆のサイン色紙がプレゼントされました。

ジュニアワールドカップ スピードスケート

500m第1位！

～奥秋静子さん～

11月30日～12月1日にポーランドで開催されたジュニアワールドカップスピードスケートトマショフマゾウイエツキ大会に出場した奥秋静子さん(帯広三条高校2年)が500m第1位(39秒48)、1,000m第6位(1分21秒25)と好成績を出しました！

～おめでとうございませう～



金メダルを首からかけた奥秋静子さん
(写真中央)

人づくりは家庭から ～しほろ女性まつり～



12月1日、総合研修センターふれあいホールにて、しほろ女性まつり(女性団体連絡協議会主催)が開催され、約115名が参加しました。

始めに「無理なくできる省エネを再点検!おうちで省エネ」をテーマに、北海道地球温暖化防止活動推進員宮森芳子氏(一財)省エネルギーセンター)による講演が行われました。宮森氏は、待機電力の削減方法など自宅で実践していることを交えながら、「土幌町の補助制度の中で、高効率給湯器への買い換え補助と冷蔵庫買い換え補助は特に素敵な施策」と話していました。

続いて「詐欺対策について」をテーマに土幌駐在所鈴木晶之所長が講話を行い、「少しでもおかしいと感じたら、#9110へ連絡を」と語っていました。

最後に「一坪ショップ」が行われ、商工会女性部の手作りの豚汁や、土幌高校の物産には行列ができていました。

マイホーム建設支援 事業補助金を贈呈

～山口佳志さん～

12月3日、町内で住宅を購入された山口佳志さんへ「マイホーム建設支援事業補助金」25万円(うち12万5千円は商工会商品券)が高木町長から手渡されました。

町では、移住・定住者の増加を図るため、町内に初めてマイホームを持ち、10年以上定住される方に補助金を交付しています。

補助金の使い道について山口さんは「家電などを買うのに使いたい」と話していました。

補助金の詳細は、町
公式ホームページを
ご覧ください。↓



中土幌小学校で 音楽の特別授業!

～作曲家浜渦正志さん～



12月4日、中土幌小学校音楽室にて、作曲家浜渦正志さんによる音楽の特別授業が行われました。

浜渦さんは現在中土幌に住んでおり、ゲームのBGMの他、TVアニメ、劇場版アニメ、CMなどの音楽制作を行い、ファイナルファンタジーXIIIや、不滅のあなたへのエンディングテーマ、ポレットのイスなど、たくさん有名な楽曲を手がけました。

授業では「小さい頃はどんな子だったか」「音楽を作ってるときはどんなことを考えているのか」など、子どもたちからの質問に答えていました。どのように曲を作っているか、レコーディングをしている動画を見せながら解説すると、子どもたちは興味津々な様子で聞いていました。

地域貢献事業に感謝状

道路工業・東日本 経常建設共同企業体

12月5日、道路工業・東日本経常建設共同企業体の大友崇生所長らが教育委員会を訪れ、土屋教育長より感謝状が手渡されました。同社には、帯広広尾自動車道帯広市北伏古舗装補修外一連工事の一環として、11月18日に中士幌小学校の体育館周辺路面整備を実施していただきました。

土屋教育長は「学校の環境整備に日々努めているが、なかなかできない部分もあり、大変ありがたい」と感謝を述べました。



省エネ・節電授業



12月6日、上居辺小学校にて上居辺小学校と中士幌小学校の5・6年生を対象に合同授業が実施され、16名が参加しました。

合同授業では、地球温暖化・温室効果ガスの説明から始まり、SDGsや省エネルギーについてはクイズ形式で行われました。

講師を務めた家庭の省エネエキスパートの佐藤千佳子氏は、地球温暖化の重要性和温室効果ガスを減らすための工夫として、省エネの重要性を話され、児童はメモを取りながら真剣に授業を受けていました。

佐藤講師は「温室効果ガスの削減には皆の力が必要。1人の力は小さくても、たくさん集まれば大きな力になる。皆で意識することが大事」と話していました。

瑞宝単光章

谷本仁志さん

12月9日、応接室にて、瑞宝単光章（消防功労）を受章された谷本仁志さんへの伝達式が行われました。

谷本さんは、昭和52年に士幌消防団に入団されて以来、令和5年まで45年間の永きにわたり消防団活動に尽力されました。

この日、町長から勲章が手渡されると、谷本さんは「仲間、家族の支えがあっただけだったものだと思う。本当にありがたい」と話していました。



瑞宝双光章

松浪浩之さん



12月9日、応接室にて、瑞宝双光章（児童福祉功労）を受章された松浪浩之さんへの伝達式が行われました。

松浪さんは、昭和50年4月に中士幌保育園に奉職し、昭和56年には園長に就任。以来、29年間の永きにわたり、児童福祉の充実に力を注ぎ、積極的に地域の子育て支援を進め、地域に密着した保育園の運営に尽力していただきました。松浪さんは「長い間士幌町の子育て支援に微々たる力だが、様々なことに携わらせていただけて大変ありがたい。今後とも力を注ぎたい」と話していました。

北海道社会貢献賞を受賞

～河江依子さん～

12月5日、町長応接室にて、北海道社会貢献賞（社会事業関係功労者）を受賞された民生委員・児童委員の河江依子さんの伝達式が行われ、高木町長から表彰状と記念品が手渡されました。

河江さんは、土幌町の民生委員・児童委員として平成19年から16年間にわたり活躍されているほか、町民生児童委員協議会の職務代理副会長や町社会福祉協議会評議員、北中ふれあいサロンの代表としても地域福祉活動の推進にご尽力されています。

河江さんは「サロンに行けば顔も見られるし情報ももらえる。サロンや地区のみんなの協力のおかげで活動することができている」と話していました。



12月定例議会でも可決された主な案件

12月6日から10日まで令和6年第4回定例議会が開催され、条例改正や補正予算などの議案について審議し、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

○指定管理者の指定について

土幌町学習体験の里（土幌高原ヌプカの里）および土幌町国産材展示施設（土幌高原ヌプカの里ニイ・ピリカ・チセ）に係る指定管理者の指定について、議決を求めるもの

○指定管理者の指定について

土幌町民プールに係る指定管理者の指定について、議決を求めるもの

○物品購入契約の締結

・町内小・中学校ICT端末購入

○土幌町犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等基本法に基づき、本町における犯罪被害者などの支援に関し、基本理念を定め、ならびに町、町民などおよび事業者の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者などの支援について基本となる事項を定めるため、条例を制定するもの

○下居辺交流施設設置条例の一部を改正する条例

しほろ温泉プラザ緑風の旧館解体に伴う売上の減少や物価高騰などによる経費の増加に伴い、利用料金の上限額を見直すため、条例を改正するもの

○情報通信技術の活用による行政

手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法などの改正により、条例を改正するもの

○職員給与に関する条例等の一部を改正する条例

国家公務員の給与に関する法律の改正に伴い、寒冷地手当、期末手当、勤勉手当および給料表について改定するため、条例を改正するもの

○土幌町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与に関する法律の改正に伴い、期末・勤勉手当および給料表について改定するため、条例を改正するもの

○土幌町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の期末・勤勉手当の支給率引き上げを考慮し、町長などの期末手当支給率について改定するため、条例を改正するもの

○土幌町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の期末・勤勉手当の支給率引き上げを考慮し、議員の期末手当支給率について改定するため、条例を改正するもの

○令和6年度補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計

シルバー防犯対策の集い・ 生きいき交歓会

12月12日、総合研修センターにて、士幌町柏樹学級および士幌町老人クラブ連合会主催の「シルバー防犯対策の集い・生きいき交歓会」が開催され、会員など約150名が参加しました。

はじめに、士幌町老人クラブ連合会表彰式が行われ、各地区の老人クラブや連合会で役員を永年勤められた7名の方が表彰を受けました。

士幌駐在所による防犯対策講話では、特殊詐欺などへの対策や運転手・歩行者の交通安全対策、冬道の運転での注意点などが話されました。

演芸発表会では、会員有志がカラオケやオカリナ、舞踊にフラダンスなど披露し、会場からは大きな拍手が送られ、楽しい1日となりました。



防火防災標語コンクール

優秀賞 瀬戸 陽希 さん
おはしもは みんなをすくう 言ば



士幌小学校での授賞式。
左から 大平陽斗さん(優良賞・3年)、
瀬戸陽希さん(優秀賞・3年)、
仙石署長、相澤千尋さん(優良賞・3年)

令和6年度士幌町防火防災コンクールの授賞式が12月2日上居辺小学校、6日中士幌小学校、12日士幌小学校にてそれぞれ開催されました。

コンクールは、士幌消防署が主催し、標語を通じた子どもたちの防火防災意識の向上を目的に、町内の小学生を対象に毎年実施しています。

今年度は44名の応募があり、士幌小学校3年瀬戸陽希さんの作品が優秀賞に選ばれました。仙石署長は児童らへ表彰状と記念品を手渡し「みなさんが書いた標語のとおり防火防災を意識して守っていただきたい。たくさんの方の応募ありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

人の動き

5,698人(−141) 男2,822人(−51) 女2,876人(−90) 世帯2,737(−23)

※11月末現在()は前年比

美濃のまちから

美濃市・士幌町 共同シティプロモーション を東京で開催



11月21日・22日、東京駅前にて、美濃市は姉妹都市・士幌町と連携し、シティプロモーションを実施しました。

美濃市と士幌町は、令和6年に姉妹都市提携30周年を迎えたことから、記念事業として首都圏における共同シティプロモーションを初めて実施しました。

今回のシティプロモーションにあわせて両市町の観光・特産品・ふるさと納税返礼品の魅力などを掲載したチラシを新たに作成し、来場者に両市町の魅力をPRしました。

来場者からは「美濃市五感遺産について「五感」をフックとした認定は素晴らしい。行ってみたくなった」「姉妹都市が一緒になってPRするのは珍しいが、両市町の魅力が伝わった。早速、ふるさと納税を検討したい」というコメントが寄せられました。

～20歳になったみなさんへ～ 『20歳になったら国民年金』

国民年金は、年をとったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

国民年金は20歳以上60歳未満の方は加入することが義務付けられています。

20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。



国民年金のポイント

◎将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するため、安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◎老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。

障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取ることができます。また、遺族年金は加入者が死亡した場合、その加入者によって生計を維持されていた遺族(子のある配偶者や子)が受け取れます。

◎保険料の納付方法について

令和6年度の国民年金保険料は、1か月16,980円です。

国民年金保険料納付書が届いたら、金融機関の窓口のほか、コンビニエンスストアで保険料を納めてください。なお、保険料は口座振替やクレジット納付、電子納付もできます。

保険料を未納のまま放置すると、年金を受け取ることができない場合があります。必ず保険料を納めるか、次の納付猶予制度や学生納付特例制度を申請してください。

「学生納付特例制度」と「納付猶予制度」

◎「学生納付特例制度」

学生の方は、一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

◎「納付猶予制度」

学生でない50歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

お問い合わせ

町民課住民年金係
帯広年金事務所

電話5-5231 (直通)

電話0155-25-8113

令和6年を振り返って…

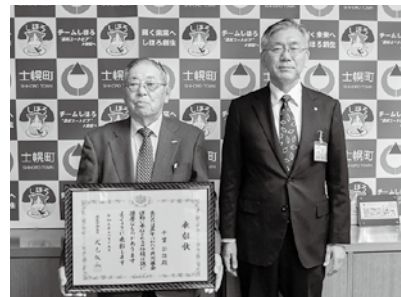
こんなことがありました



永年にわたり土幌町ゲートボール協会会長や十勝ゲートボール連合会の会長を歴任された稲葉正志さんが日本ゲートボール連合健康功労賞を受賞されました。(1/26)



第54回北海道中学校スケート大会女子2,000mリレーにおいて、土幌町中央中学校スケート部が優勝し、高木町長へ報告しました。(1/19)



永年にわたり募金運動の向上に尽力された千葉公雄さんが社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞され、伝達式が行われました。(1/16)



世界大学スピードスケート選手権大会に出場し、1,000mで銀メダルを獲得した、土幌町出身の小野寺日菜選手が、高木町長へ結果を報告しました。(3/27)



ISUワールドカップスピードスケートに出場した土幌町出身の森本拓也選手と小野寺優奈選手が、高木町長へ結果を報告しました。小野寺選手はチームパシュートでは銀メダルを獲得しました。(3/11)



「農と暮らしの委員会」の設立や、道の駅ピア21しほろの運営に取り組まれている(株)at LOCALの堀田悠希さんが北海道輝く女性のチャレンジ賞を受賞され、高木町長へ報告しました。(2/16)



町へ多額の寄付をされた(株)オカモトが紺綬褒章を受章され、伝達式が行われました。(4/9)



北海道日本ハムファイターズのB・Bがしほろ魅力発見アンバサダーに就任し、高木町長から委嘱状を手渡されました。(4/4)



末永秀雄さんが土幌消防団の団長に就任し、辞令交付式が行われました。(4/1)



永年にわたり町議会議員として尽力された杉原憲司さんが旭日単光章を受章され、伝達式が行われました。(6/26)



士幌消防署と北海道防災航空室の連携を図ることを目的に、林野火災発生を想定した空中消火訓練が実施されました。(6/4)



士幌町と岐阜県美濃市の姉妹都市提携30周年を迎えたことによる記念事業として「美濃市訪問ツアー」が行われました。(4/12～14)



「野人」の愛称で知られているサッカー元日本代表の岡野雅行さんを講師に招き、士幌町スポーツ少年団主催の講演会およびサッカー教室が開催されました。(11/12)



大野蓮之佑さんが第37回南部忠平記念陸上競技大会に出場し小学4年生男子800mで1位に、河村京葉さんが第31回北海道中学校新人陸上競技大会に出場し砲丸投で優勝し、土屋教育長に報告しました。(10/9)



町や関係機関が協力し、冬季の大規模地震発生を想定した防災訓練が実施され、避難所や災害対策本部の開設訓練が行われました。(10/7～8)



永年にわたり民生委員・児童委員などとして地域福祉活動の推進に尽力された河江依子さんが北海道社会貢献賞を受賞され、伝達式が行われました。(12/5)



奥秋静子さんがジュニアワールドカップスピードスケートトマショフマゾウィエツキ大会に出場し、500mで第1位になりました。(11/30～12/1)



手交流会2024トークショーin しほろが開催され、北海道日本ハムファイターズの五十幡亮汰選手、細川凌平選手、しほろ魅力発見アンバサダーのB・Bが登場しました。(11/27)



永年にわたり社会福祉法人の理事長として保育施設の運営や子育て支援に尽力された松浪告之さんが瑞宝双光章を受章され、伝達式が行われました。(12/9)



永年にわたり消防団員として尽力された谷本仁志さんが瑞宝単光章を受章され、伝達式が行われました。(12/9)



士幌町と岐阜県美濃市の姉妹都市提携30周年を迎えたことによる記念事業として「士幌の空」公演が行われました。(12/8)

健康ニュース

「認知症」についての活動

認知症は、誰もがなりうるものであり、多くの人にとって身近なものになっています。

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の本人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進しています。

地域包括支援センターでは、認知症の普及啓発事業を行っています。

認知症サポーター養成講座

⇒認知症のこと、接し方などを学ぶ

認知症カフェ

⇒認知症について語り合う場所。交流や講話など

RUN伴

⇒オレンジ色のTシャツを着て、タスキをつなぐ啓発イベント



認知症初期集中支援推進事業

⇒認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けておこなう支援

認知症予防講演会

⇒住民対象の講演会

物忘れがあっても、書類を理解できなくても、居場所が分からなくなっても、皆が安心して過ごせる、希望を持てるまちづくりのために、一緒に活動しましょう。

詳しいご相談はお気軽に下記の担当にお問い合わせください。

士幌町地域包括支援センター 電話 5-2188



こどもだより

舞台に輝く「成長の軌跡」

認定こども園長 渋谷 浩



【“初舞台”の1歳児クラス】

11月30日(土)に土幌町認定こども園の発表会が行われました。1歳児クラスから5歳児クラスまでの124名の園児が舞台に立ちました。

“初舞台”を飾ったのが1歳児クラスの子どもたち。お名前を呼ばれたら「は〜い」とお返事したり、手遊び歌を上手に歌ったりして、会場から大きな拍手をもらっていました。



【5歳児クラスの歌『ありがとうの花』】

2歳児クラス以上は、歌や楽器、劇や踊りと見せ場たっぷり。どのクラスも1年前からの成長を、ご家族の方々に存分に堪能してもらいました。

そして、左の写真の5歳児さんの姿をご覧ください。“初舞台”からの4年間で、体も心もこんなに大きく成長していくのですね。

舞台には、子どもたちの成長の姿がキラキラと光り輝いたひと時となりました。

連絡先 認定こども園なかよし 幼児教育課 電話5-2364 (相談専用) 電話5-2502



特養だより



「こたつを囲んで談笑会」

雪もちらつき始め寒さも深まってきたある日、雰囲気味わって頂けるよう布団や天板を持ち寄ってこたつを作り、皆で談笑しながらお茶とお茶菓子を食べました。

季節を感じていただけるよう、職員が用意した落ち葉を觀賞して楽しむ方や、大きな落ち葉に穴を開けお面を作り遊ばれる方など、こたつの懐かしさと暖かさを感じながらひとときの談笑会をみんなで楽しみました。



連絡先 特別養護老人ホームほほえみ 電話5-2416

安全・環境だより

交通安全啓発を実施

11月に発生した交通事故亡事故を受け、町および生活安全推進協議会をはじめとする関係団体代表で飲食店を訪問し、来店者への注意喚起と反射材の設置を依頼するとともに、啓発品を来店者へ配布しました。飲食・飲酒の機会が多い時期です。お店に設置された反射材を利用し、安全に外出しましょう。交通事故を『起こさない・遇わない』ために、より一層の交通ルールの遵守と安全確保をお願いします。

●自動車・自転車運転する皆さんへ

交通量が少ない時間帯・場所でも油断は禁物です。

夜間など交通量が少ない時間帯は、「この時間は歩行者がいないだろう」と油断しがちになります。

暗い場所やよく見えないときは、自動車はハイビームを活用し、「歩行者がいるかもしれない。急に動物が飛び出すかもしれない」と、『かもしれない運転』を励行し、慎重

に運転しましょう。

また、飲酒運転は絶対にやめましょう。被害者だけでなく、自身や家族の生活をも揺るがします。

●歩行者の皆さんへ

信号機のある交差点や横断歩道を渡りましょう。

夜間は特に、運転者からは歩行者の姿がとも見えづらくなります。無理な横断はしない、なるべく明るい服装を心がけ、『反射材』も活用して存在をアピールするなど、自分の身を守る工夫をしましょう。

路上駐車などはやめましょう

以前の町づくり懇談会において、「市街地で路上駐車があり、交差点に近い場所ではしばらく出られないときがある」との意見があり、注意喚起を行いました。依然として迷惑行為があり、大きな事故に繋がる可能性があります。

道路交通法により、交差点とその端から5メートル以内の場所は、

駐車または停車をしてはいけません。

定められた駐車場に駐車させ、用事をすませましょう。

道路わきに、やむを得ず車を停めなければならぬ場面はあると思いますが、駐車や停車が禁止されている場所を再度確認しましょう。

『もったいない』から実践しましょう！

令和4年度の日本の食品ロス量は約47万トン。前年度から比べ、51万トンの減となったものの、人口1人当たり、毎日、おにぎり1個分に近い量を捨てていることになり、年間で約38kg分の食品を廃棄している計算になります。

大切な食べものを無駄なく食べきり、環境面や家計面にも優しい簡単な工夫をぜひ実践しましょう。

●必要な量の食材を購入する。

●賞味期限を確認する。

●食べ残さない。

●保存方法を見直す。野菜は冷凍、茹でるなど下処理をしてストックする。

●食品ロス削減レシピを活用する。

●食糧不安や栄養不足に苦しむ人々に支援を提供する仕組みを利用する。

前年度との ごみ発生量の比較

11月は前年同期と比較し、ごみの量が減少しています。

町では、生ごみ処理容器等の購入費を一部助成していますので、ご活用ください。

資源として分別できるものは、リサイクル業者等へ持ち込むなど『ごみの減量』に引き続きご協力をお願いします。

今月のごみ指数

単位：kg

	令和6年11月分	前年同期	増減
燃やせるごみ	76,390	86,620	-11.81%
燃やせないごみ	18,620	20,250	-8.05%
合計	95,010	106,870	-11.10%
町民一人当たりのごみの量	5,698 16.7	5,839 18.3	
資源ごみ	44,262	58,972	-24.94%

ごみに関するお問い合わせは、役場生活環境係(町民課直通) ☎5231 までお願いします。

誤嚥と食事姿勢について

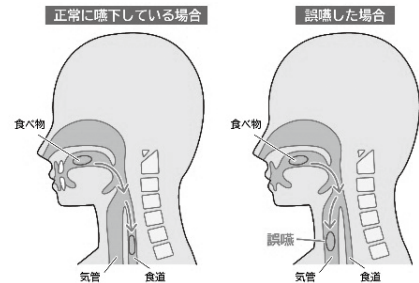
リハビリ科 小野寺 誠二

◆誤嚥と誤嚥性肺炎

誤嚥（ごえん）とは食物や唾液などが、誤って気管に入ってしまうことをいいます。

誤嚥によって細菌やウイルスが気管から肺に入っておこる肺炎を誤嚥性肺炎といい、高齢者のかかる肺炎として極めて多いと考えられています。

その誤嚥を起こす原因の一つとして食事をするときの姿勢があります。



◆誤嚥を防ぐ食事の姿勢

椅子や車椅子で食事をするときは、右図のように、あごを引いて背筋を伸ばし、足底を床につけるとよいといわれています。

①あごを引く

あごを引くと、咽喉（のど）と気管に角度がつき、折れ曲がりすぎて気管に入りづらくなります。

②背筋を伸ばす

背筋を伸ばすと、顎を引きやすくなるので、誤嚥のリスクを下げることができます。

③足底を床につける

足底を床につけることで、姿勢を安定させやすくなります。また、首周りの飲み込みにかかわる筋肉に無駄な力が入ることなく、効率的な嚥下が可能になるといわれています。



◆よい姿勢で安全な食事を！

食事時の良い姿勢は、咀嚼や嚥下機能に対する影響においても非常に重要な役割を果たしています。おいしく安全に食事を続けていけるよう、日ごろから気を付けていきましょう。



～ 土幌町中央中学校生徒の職場体験学習を行いました ～



11月15日、土幌町中央中学校の2年生2名が、当院で職場体験学習を行いました。

看護師による指導のもと、ナース服を着用し、車椅子の操作体験、正しい手洗い方法などの感染症対策や脈拍や血圧の測定などを体験しました。

●国民健康保険病院 電話5－2106



今年の暦もとうとう12月を迎えました。今年度は士幌町内の企業や団体等とのたくさんの連携・協働を積極的に進めたことで、生徒一人ひとりが主体的な学びを深めることができた実りの多い1年となりました。新しい年を迎えても、「志」をもって挑戦をする教育活動を推進していけるよう、生徒・教職員が丸となって学校生活を送っていきたいと思います。2025年も本校の教育活動へのご協力をお願いいたします。

◆しほろみらいトーク 11月7日(木)

本校、農業クラブの執行部の新体制がスタート。執行部の運営の参考に、高木康弘士幌町長とお話する機会がありました。高校生が積極的に街づくりへの発言をするなど貴重な体験となりました。次年度に向け生徒がより良い学習活動そして学校生活を送ることができるよう大きなアドバイスをいただきました。



◆教育実習

10/21～11/1までの2週間、卒業生の小濱さん(R3.3月卒業)が教育実習を行いました。



フードシステム科1年生の授業

◆第19回北海道農業高校食彩フェア in Tokyo 11月2日(土)～4日(月)

東京駅前の大丸東京店にて本校から2名、アグリビジネス科2年 赤間 かのこさん、フードシステム科2年三本木 奏さんが参加してきました。首都圏の消費者の購買志向など貴重な経験となりました。



◆学習の様子



家庭総合(1年) お弁当作り



【1月の予定】	
※変更になる場合があります。	
○冬季休業	～16日
○全校集会	17日
○英語検定	17日
○年度末総会	29日

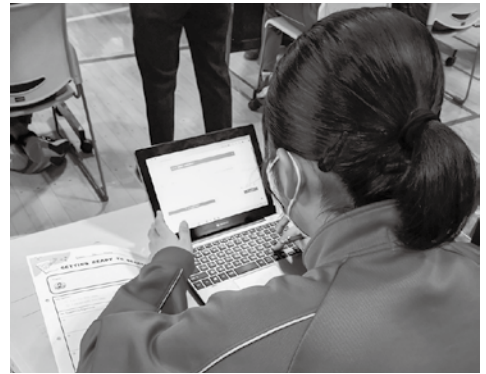
← 2学年 総合的な探究の時間 LIFE RPG





全道放送教育研究大会 士幌小・中央中・高校で開催

11月8日、第75回北海道放送教育研究大会兼第69回北海道視聴覚教育研究大会合同大会が、士幌小学校・中央中学校・士幌高校の3校を会場に開催されました。今回は令和6年度士幌町教育研究大会も兼ねての開催で、町内を含め管



内外から200名を超える参加がありました。大会テーマ「心を揺さぶり 主体的・対話的で深い学びを創造する放送教育・ICT活用」の下、士幌小・中央中・高校の3校種で、放送番組やICT機器を活用した道徳や算数、英語など7授業が公開されました。

このうち高校では、生物基礎と農業の2教科が公開されました。農業では、生徒がドローンを操作し、ほ場を空撮する実習が行われ、参加の先生方は、興味深そうに操作の様子を見たり、空撮された画像を確認したりしていました。

また、中学校では、道徳と英語の授業が公開されました。英語では、ディベートを行うための英文を作成する際、学びのパートナーを選択し活用する学習が展開されました。その中の一つ生成AIを

選択した生徒は、AIのアドバイスを基に自分の考えを整理し、英文作成に取り組みました。その様子に、参観の先生方は時折生徒に質問するなど、AIを活用した新たな授業展開に感心しきりでした。小学校では、体育・道徳・算数の授業が公開され、それぞれの教科に合わせた放送番組やICT機器を有効活用する中で、子どもが意欲的に課題に取り組み、解決する様子が見られました。

3校の児童・生徒とも、大勢の先生方が教室に來られてもあまり緊張した様子はなく、普段どおりの集中した様子で活発に発言する姿や学び合う姿が見られました。

授業後には、小中の公開授業毎に分かれて授業についての話し合いが行われました。授業を参観した先生方からは、放送番組やICT機器の有効活用について多数の感想や質問・意見などが出され、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりについて研鑽を深めていました。

今回、3校種を参観できる日程を組んだことにより、普段見ることの少ない他校種の授業を参観することができ、発達段階に応じた指導やICT機器の活用法について参考になったとの感想もあり、町内の先生方にとってもたいへん充実した研究大会となりました。

日頃の学習成果を発表 小学校3校で学習発表会

10月25日の士幌小を皮切りに、11月2日中士幌小、16日上居辺小で学習発表会が開催されました。

士幌小は学年毎、中士幌小と上居辺小は低・中・高学年毎に、合唱や器楽合奏、劇、ダンス、器械体操などを上手に組み合わせ、発表していました。

中士幌小の低学年は、歌や器楽、ダンスなどを織り交ぜ1週間の学校生活の様子がよくわかる発表で、観覧の保護者や地域の方々から大きな拍手が贈られていました。

3校とも、子どもたちの日頃の学習成果や成長を十分感じさせる学習発表会となりました。



町民文芸

俳句

・平穏な日々を願いて初日の出

研紀

・十勝野に大地を包む六つの花

研紀

・産まれ墮つ仔牛温め去年今年

水音

・防風林の枝に広がる初茜

水音

・家族して希望を燃やす去年今年

和田 節女

川柳

・娘達今年も世話によろしくね。

和田 節子

短歌

・たそがれに積雪なのかと車窓より白鳥の群えさを求めて

清水さよ子

・被爆者の一生かけた闘いは核廃絶をとノーベル賞

三木 悦子

バトンタッチ



絵画の世界へ！



士幌南旭区旭西班

兼山 滉都 さん

プロフィール

- ◆家族構成◆
4人暮らし（父・母・滉都さん・妹）
- ◆土幌で好きなもの◆
人と人が近い
- ◆旅行に行くとしたら？◆
京都

滉都さんは、士幌町出身で士幌高校に入学。卒業後は酪農学園大学循環農学類で、畑作について学び、有機農業や土の中の微生物について研究したそうです。

滉都さんは、子どもの頃から農業を見てきて植物や動物が好きだったことから、実家の農業の手伝いをしていくそうです。主にイモ・小麦・ビート・玉ねぎ・豆類の栽培をしています。「大きい機械を運転するのが難しくて苦労している」と話す滉都さんですが、「自然とふれ合うことができ、珍しい虫や動物を見ることができるところに魅力を感じる」と話していました。

最近ハマっていることを聞いてみると、「絵を見ることにハマっている！」と話していました。大学の時に友人が絵を描いており、絵を教えてもらったことがきっかけでハマったんだとか。一番好きな作品はフェルメールの「真珠の耳飾りの少女」。青の表現が素敵で、色の案配が好きだ！と熱弁してくれました。他にも昔見ていたアニメなどを見返すことにもハマっているそうで、「大人になって見ると考え方が変わる」というので見ているそうです。最近だとハリーポッターを見て、「ダンブルドア先生が親の代わりみたい」と、中学生の時に感じなかったことが分かるようになったと話していました。

これからの目標を聞いてみると「色々な所に旅行に行く！」と楽しそうに話していました。

次回は士幌北一区の角田健輔さんにバトンタッチ。滉都さんから健輔さんへ一言。「任せた！」

したしみ図書館 新しく入った本

【児童書】

むぎちょこたんていしゃ (青山友美)
おせち (内田有美)
シカしかいない (キューライス)
ノラネコぐんだんピザをやく (工藤ノリコ)
ウォーリーをさがせ!スピードバトル (マーティン・ハンドフォード)
パウ・パトロールきょうりゅうをすくえ!ダイノレスキュー (小学館)
5万年後に意外な結末(桃戸ハル)
みかんファミリー (柳月美智子)
ブリタニカビジュアル大図鑑 (NHK 出版)
「植物」をやめた植物たち (末次健司)
“森の演出家”ツッチーの自然あそびハンドブック (土屋一昭)

【一般書】

恋とか愛とかやさしさなら (一穂ミチ)
夜更けより静かな場所(岩井圭也)
森田繁子と腹八分 (河崎秋子)
青い絵本 (桜木紫乃)
架空犯 (東野圭吾)
婚活マエストロ (宮島未奈)
こむぎのキロク (こむぎ)
どうして死んじゃうんだろう? (細川貂々)
まっぴる東京観光'25 (昭文社)
北朝鮮に出勤します (キム・ミンジュ)
理想の家を手に入れるマイホームの建て方&買い方 (ナツメ社)
過敏性腸症候群(IBS) (水上健)
今さら聞けない睡眠の超基本 (柳沢正史)

★このあななんじゃ ひがたのいきものへん (みぞぐちともや)

そのあなには、想像もつかない生き物たちがすんでいる!?海の水が引いたあとの「干潟」。変形ページをめくると、干潟の砂や泥のなかから、ふしぎでおもしろい生き物たちがあらわれて…。楽しいしかけ絵本。



★袴田事件 神になるしかなかった男の58年 (青柳雄介)

事件発生から58年を経て再審判決の時を迎えた「袴田事件」。袴田巖さんが確定死刑囚のまま釈放された2014年以降、姉や元裁判官に密着取材した著者が、「再審無罪」への長き闘いを描く。『世界』連載等を元に書籍化。



★★今月の休館日★★

1～3、7、14、21、28日(毎週火曜日)

※1～3日は年始休館※

したしみ図書館(総合研修センター内 電話5-2281)【開館時間】10時00分～18時00分まで
<https://www.ik.licsre-saas.jp/shihoro/webopac/index.do>

★善意に感謝します★

寄附・寄贈

▼その他目的達成のため町長が必要と認める事業

堀部 修さん 20万円

《企業版ふるさと納税》

▼結婚・出産・子育てへの支援を充実させる事業

合同会社1(東京都) 10万円

▼安心して住み続けることができる地域をつくる事業

(株)安井測量設計事務所(帯広市)

《特別養護老人ホームへ》

和田 晴男さん(佐倉南区) もち米

伊賀 勝彦さん(共成) じゃがいも

よつ葉乳業(株) ヨーグルト

市街南町公民館 タオル

真徳寺仏教婦人会 ティッシュペーパー

全龍寺婦人会 洗濯用洗剤

細井 千代子さん(実勝) ひざ掛け

《社会福祉議会へ》

堀部 修さん 10万円

★おくやみ★

坂本 情さん(23歳) 新生

井川 俊美さん(78歳) 睦南

成田 美千子さん(84歳) 中土幌

土生 千代子さん(86歳) 西居北

河村 富美さん(90歳) 松室

八木 百合子さん(89歳) 互譲

藤本 恭子さん(78歳) 愛風苑

成瀬 延芳さん(89歳) 中土幌

★お誕生★

森本 吉彦さん(11月10日生) 昌樹さん 土幌南二区

國崎 雪雅さん(11月19日生) 唯可さん いこい

(12月15日受付分まで)

出産祝い金贈呈

～佐々木美頼ちゃん～

12月5日、佐々木亮一さん・良美さんの次男(第3子。10月10日生)の美頼ちゃんへ、出産祝い金が贈呈され、高木町長から手渡されました。町では、第3子以降が生まれた家庭へ町長が直接出産祝い金を贈呈しています。

～ご出産おめでと～ございます♪～





暮らしのカレンダー 1月

日にち	行	事	場所
1 水			
2 木			
3 金			
4 土			
5 日			
6 月		9:00～11:00 妊産婦・子育て相談・一般健康相談	福セ
	☆	9:30～11:30 ちびっこ広場	認定こ
	☆	10:00～11:00 ぴよぴよ広場	中児
		13:15～13:30 受付 予防接種	国保
		(四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	
7 火	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		15:45～16:00 受付 予防接種(二種混合・日本脳炎)	国保
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
		10:30～11:30 スマイル教室	保セ
		13:00～14:00 ふまねっと	タウン
8 水		13:00～16:30 よすが子育て相談	福セ
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		受付時間は個別通知 巡回型健診結果説明会	保セ
	☆	9:30～11:30 のびのびの日	認定こ
		10:00～11:30 いきいき運動教室	総研
9 木	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		受付時間は個別通知 巡回型健診結果説明会	保セ
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
10 金		受付時間は個別通知 巡回型健診結果説明会	保セ
		8:50～9:20 受付 まる元運動教室	福セ
	☆	9:30～11:30 わんぱくの日	認定こ
		10:00～10:30 受付 まる元運動教室	福セ
		13:00～13:30 受付 まる元運動教室	福セ
11 土	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		11 土	
		12 日	
		13 月	
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
14 火	☆	10:00～11:30 キッズ・クラブ	認定こ
		13:00～16:30 よすが子育て相談	福セ
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
15 水		受付時間は個別通知 2歳児教室	保セ
	☆	9:30～11:30 のびのびの日	認定こ
		10:00～11:30 いきいき運動教室	総研
		13:00～14:00 ふまねっと	中士幌
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
16 木		受付時間は個別通知 幼児健診	保セ
	☆	9:30～11:30 なかよくあそび	中児
		8:50～9:20 受付 まる元運動教室	保セ
		9:00～11:30 赤ちゃん相談	福セ
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
17 金	☆	9:30～11:30 おひさまの日	認定こ
		10:00～10:30 受付 まる元運動教室	保セ
		13:00～13:30 受付 まる元運動教室	保セ
		13:15～13:30 受付 予防接種	国保
		(四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	
18 土	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		15:45～16:00 受付 予防接種(二種混合・日本脳炎)	国保
		18 土	

日にち	行	事	場所
19 日			
20 月		9:00～11:00 妊産婦・子育て相談・一般健康相談	福セ
	☆	9:30～11:30 ちびっこ広場	認定こ
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
21 火		9:30～11:30 早期介入運動教室	保セ
		13:00～16:30 よすが子育て相談	福セ
		13:00～14:00 ふまねっと	タウン
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
	☆	9:30～11:30 のびのびの日	認定こ
22 水		9:30～11:00 おっぱい相談(要予約)	福セ
		9:30～11:30 献血(役場前)	
		10:00～11:30 いきいき運動教室	総研
		13:00～14:30 献血(JA土幌町事務所前駐車場)	
		13:00～15:00 認知症カフェ	もりくま
23 木	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		15:00～16:00 献血(福祉センター)	
	☆	10:00～11:00 園開放の日	中児
		8:50～9:20 受付 まる元運動教室	保セ
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
24 金		10:00～10:30 受付 まる元運動教室	保セ
		13:00～13:30 受付 まる元運動教室	保セ
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		25 土	
		26 日	
27 月		受付時間は個別通知 巡回型健診結果説明会	保セ
		9:00～11:00 妊産婦・子育て相談・一般健康相談	福セ
	☆	9:30～11:30 ちびっこ広場	認定こ
		13:15～13:30 受付 予防接種	国保
		(四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	
28 火		15:45～16:00 受付 予防接種(二種混合・日本脳炎)	国保
		受付時間は個別通知 巡回型健診結果説明会	保セ
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
		13:00～16:30 よすが子育て相談	福セ
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
29 水		受付時間は個別通知 巡回型健診結果説明会	保セ
	☆	9:30～11:30 のびのびの日	認定こ
		10:00～11:30 いきいき運動教室	総研
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
30 木	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児
		8:50～9:20 受付 まる元運動教室	福セ
	☆	9:30～11:30 にこにこ広場	中児
		10:00～10:30 受付 まる元運動教室	福セ
		13:00～13:30 受付 まる元運動教室	福セ
31 金		13:15～13:30 受付 予防接種	保セ
		(BCG・麻しん風しん混合)	
	☆	13:30～15:30 ごごの広場	中児

【凡 例】

保セ	→ 町民保健センター	国保	→ 国保病院
福セ	→ 総合福祉センター	タウン	→ タウンプラザ
中児	→ 中士幌児童ステーション	総研	→ 総合研修センター
認定こ	→ 認定こども園なかよし	中士幌	→ 中士幌地区公民館
		もりくま	→ みんなのもののくまさん

※子育て支援は0歳児から就学前のお子さんを持つ家庭の方が対象です。また、キッズ・クラブは会員登録制です。
☆印のお問い合わせや子育ての相談は子育て支援センター(電話7-4102)または認定こども園なかよし(電話5-2502)まで
※まる元運動教室は、地域包括支援センター(電話5-2188)にご相談ください。



この広報誌は、ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。